『土砂災害ポータルひろしま』を利用しましょう！

『土砂災害ポータルひろしま』では、危険性の高い地域を「知る」、雨の状況を「察知する」ための機能や情報をあつめ、土砂災害のおそれのある箇所や今降っている雨の強さ、土砂災害発生の危険度などを調べることができるようにしています。

今すぐ検索！

土砂災害ポータルひろしま

『土砂災害ポータルひろしま』で調べられること【知る編】

○自分（や知り合いなど）の住まいが土砂災害のおそれのある場所にあるかどうか

■土砂災害警戒区域・特別警戒区域図

国土地理院

自分の家が
土砂災害のおそれのある場所に
あるか印刷してみましょう

『土砂災害ポータルひろしま』で調べられること【察知する編】

○現在、大雨注意報、警報、特別警報が出ている市町
○現在、土砂災害警戒情報が出ている市町
○現在の県内の土砂災害発生の危険度（土砂災害危険度情報）
○現在の県内の雨量（レーダー雨量）など

■今の土砂災害発生の危険度を知る

土砂災害発生の危険度を表示

国土地理院

土砂災害危険度情報とは

県内を５キロ四方の正方形で区切り、その時点の土砂災害発生の危険度を色で表しています。雨は西から東に移動します。今、色がついていないからと言って安心せず、なんどもくり返しチェックしましょう。

地域の砂防情報アーカイブ

https://www.sabo.pref.hiroshima.lg.jp/saboarchive/saboarchivemap/index.aspx

県民の皆さまからご提供いただいた貴重な土砂災害の資料や写真を記録し、ホームページ上で共有・公開する土砂災害・砂防の情報共有システムです。地域の防災に役立てるため、皆さまからの貴重な情報提供をお待ちしています。

検索！ 広島県　砂防情報アーカイブ

広島県防災WEB

http://www.bousai.pref.hiroshima.jp/hdis/

広島県防災 WEB は、雨量や河川の水位などの観測データ、台風・地震・津波などの気象情報や災害情報、避難勧告・避難所開設などの緊急ニュース等を入手することができます。「土砂災害ポータルひろしま」とあわせて活用してください。

検索！ 広島　防災

ひろしまの土砂災害を知る・学ぶ・伝える

https://www.sabo.pref.hiroshima.lg.jp/densyou/

県民の土砂災害に対する意識の醸成を図るとともに、過去の土砂災害の教訓を伝承していくため、「啓発」・「防災教育」・「伝承」を３本の柱とした「土砂災害　啓発・伝承プロジェクト」を推進しています。本プロジェクトのポータルサイト「ひろしまの土砂災害を知る・学ぶ・伝える」を防災教育や地域の災害伝承などに活用してください。

検索！ ひろしま 啓発 伝承

発行・問い合わせ先　広島県　広島県砂防課　TEL：082-221-3764　　令和元年９月発行

広島県
保存版

～広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動　展開中～

土砂災害から身を守るために

「災害死ゼロ」を目指して

土砂災害から命を守るためには、普段から土砂災害について知り、
あなたの住む地域の危険性を知ること、
そして、いざという時は土砂災害の危険が迫っていることをいち早く察知し、
自ら判断して、適切に行動することが大切です。
また、少しでも危険を感じたら、すみやかに避難することも大切です。

ご存知ですか？　あなたの地区の土砂災害警戒区域等を調べてみましょう。

広島県は土砂災害のおそれのある箇所数が全国で最も多い県で、土砂災害防止法に基づく基礎調査が完了したことにより、県内に約47,500箇所存在することが判明しています。このパンフレットを見ると、土砂災害のおそれがある箇所の調べ方などがわかります。

このパンフレットをよく読み、保管しておきましょう！

土砂災害から命を守るため、覚えておきたい大切なポイント

ポイント 土砂災害を「知る」

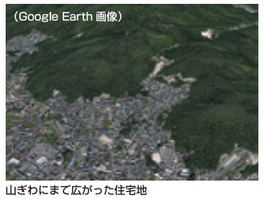
●広島県は土砂災害警戒区域が全国で最も多い県です。

土砂災害警戒区域が多い要因には、次のような自然条件や社会条件などがあります。

①県土の７割を山地が占める

②平野部が少なく山すそまで宅地開発されている

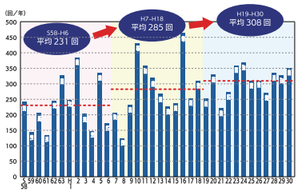
③崩れやすい「マサ土」が県土の大半を占める



山ぎわにまで広がった住宅地

●土砂災害は何が原因で起きるのか?

土砂災害を引き起こす、いちばんの原因は大雨です。近年、非常に激しい雨が、狭い地域で短い時間に集中して降る「局地的大雨」が増え、それにともなって土砂災害も多くなっています。平成26(2014)年8月20日の土砂災害も、記録的な大雨が引き金になって起こりました。



１時間降水量50mm以上の年間発生回数（気象庁資料をもとに作成）

●土砂災害とは･･･

山や急な斜面がくずれ、大量の泥や石、大きな岩までもが一気に暮らしの場におそいかかってくる恐ろしい災害。これが土砂災害です。土砂災害を引き起こす現象には、「土石流」「がけ崩れ」「地すべり」などがあり、なかでも「土石流」「がけ崩れ」はスピードも速く、起きてから逃げても、命を守ることは非常に困難です。

ポイント 自分が住む地域の危険性を「知る」

●どこが危険なの?

次のような場所は、土砂災害が起きやすいところです。

■「土砂災害警戒区域」「土砂災害特別警戒区域」として公表・指定された区域

なお，土砂災害警戒区域外であっても土砂災害の被害がおよぶおそれがあります。大雨により土砂災害発生の危険性が高まったときは，安全な場所へ早めに避難してください。

●危険な場所の調べ方

（1）ハザードマップを手に入れよう！

広島県内のすべての市町は、土砂災害警戒区域等を示したハザードマップを準備しています。住んでいる市町でもらいましょう。

（2）インターネットで調べよう！

広島県砂防課のホームページ『土砂災害ポータルひろしま』で、土砂災害警戒区域等がすぐわかります。

【土砂災害警戒区域と土砂災害特別警戒区域の関係】

土砂災害警戒区域の指定
《土砂災害のおそれがある区域》

土砂災害特別警戒区域
《建物が破壊され、住民に大きな被害が生じるおそれがある区域》

土砂災害警戒区域・特別警戒区域は、土砂災害危険箇所等を調査したのち、法令に定める手続きに従って公表・指定したものです。調査が進むにつれて新たに土砂災害のおそれがある箇所が判明しています。

ポイント 危険を知らせる情報を「知る」

国の「避難勧告等に関するガイドライン」が改定され、住民がとるべき行動を警戒レベルの５段階に分けた情報が提供されるようになりました。大雨や土砂災害に関する情報は気象庁や県から、避難に関する情報は市や町から発表されます。警戒レベル３相当情報の大雨警報が出たら、それ以降の気象情報や避難情報に注意が必要です。警戒レベル４相当情報の土砂災害警戒情報が発表されたとき、または警戒レベル４（避難勧告）が出たときは、ためらわずに避難を始めてください。特に、あなたの住まいが土砂災害警戒区域等にある場合は、空振りをおそれずに、一刻も早く避難してください。土砂災害警戒区域等の周辺に住んでいる場合も、危険を感じたらすぐに逃げてください。

市や町が出す情報

※市町から避難についての情報が出ていなくても、自分が危険と判断した場合は自主的に避難しましょう！

警戒レベル	用語	行動の目やす
警戒レベル3	避難準備・高齢者等避難開始	避難に時間がかかる人は避難、それ以外は避難準備をする。
警戒レベル4	避難勧告	災害発生の可能性が高いので、避難を始める。
警戒レベル4	避難指示（緊急）	災害発生の危険が非常に高いか、すでに被害が出ている状態なので、一刻も早く避難する。
警戒レベル5	災害発生情報	既に災害が発生している状況なので、命を守るための最善の行動をとる。

気象に関する情報

気象庁が出す情報

- 大雨注意報：大雨によって災害が起こるおそれのあるとき
- 大雨警報：大雨によって重大な災害が起こるおそれのあるとき
- 大雨特別警報：数十年に一度という大雨によって重大な災害が起こるおそれが著しく高いとき

気象庁と広島県が出す情報

- 土砂災害警戒情報：土砂災害の危険性がいっそう高まったとき発表。「○○市に土砂災害警戒情報が発表されました」など、市町単位で発表される。

ポイント 危険が迫っていることを「察知する」

●何に注意すればいいの?

雨に注意が必要です。短い時間でも大量の雨が降ったとき、少しの雨でも長時間降ったときは、大雨注意報や警報、土砂災害警戒情報などが出ていないか、注意して確認してください。長い時間雨が降り続いたあとは、止んでからもしばらく警戒が必要です。

●雨の情報の調べ方

（1）テレビやラジオの気象情報から

大雨や土砂災害に関する注意報や警報は、テレビなどの『天気予報』で知ることができます。

（2）インターネットから

『土砂災害ポータルひろしま』では、県内の雨に関する情報や危険度を知らせる情報を提供しています。

●土砂災害危険度情報は、テレビのデータ放送でも確認できます。

ＮＨＫのデータ放送を受信できるテレビなら、リモコンのｄボタンを押せば、地域の気象情報をいつでも見ることができます。

●地上波デジタル放送を見ているときにｄボタンを選択

●気象情報や雨量情報などのボタンを選択

画像提供：NHK広島放送局（http://www.nhk.or.jp/hiroshima/）

●メール通知サービスに登録しましょう!

「察知すべき」情報を携帯電話やパソコンにメールで通知するサービスもあります。『土砂災害ポータルひろしま』から登録ができます。

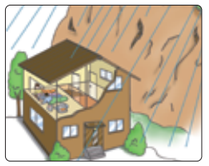
ポイント 判断して、適切に「行動する」

●情報を集めましょう

避難勧告・避難指示等は市町から発表され、防災無線などで住民に伝えられますが、大雨のときは雨音で放送が聞こえにくい場合もあります。
みずからテレビやラジオをつける、インターネットで雨や避難勧告が出ている市町の情報を集めるなどの行動をとりましょう。

●どのように避難する?

■避難場所へは明るいうちに
■家族やご近所と連れ立って
■どうしても外に出られないときは、２階以上のがけから遠い部屋に避難



●土砂災害の前ぶれをみつけよう

土砂災害は前ぶれが起きることがあります。下のような現象を見かけたら、安全な場所に避難してください。

土石流の前ぶれ

- 山鳴りや地鳴り、立木の裂ける音や石のぶつかり合う音がする。
- 雨が降り続いているのに川の水位が下がる。
- 川の水が急ににごったり、流木が混ざったりする。
- 異様なにおい（木の腐ったようなにおい、土のにおいなど）がする。

がけ崩れの前ぶれ

- がけから水が噴き出す（しみだす水の量が急に増える）。
- がけからの水がにごる。
- がけに亀裂が入ったり、ふくらんだように見えたりする。
- がけから小石がパラパラ落ちてくる。

いざというとき、あわてないように！　ふだんから備えておきましょう。

○家族みんなで確認しておこう

■この地域の避難所（　　）
※ハザードマップで指定された避難所を書きましょう。

■避難所まで行けなかったときに逃げ込むところ
（　　）
※近所のコンクリートのビルなど、指定された避難所以外の避難先を書きましょう。

■家族の連絡先 1.（　　）
2.（　　）
※家族が離れ離れになったときの連絡先です。親戚や知人など、2か所以上決めておきましょう。

■近くの役場の連絡先（　　）
※災害の「前ぶれ」に気付いた時は、すぐに役場に知らせましょう。

○非常持ち出し品チェックリスト

※非常持ち出し品は、家族構成によって異なります。わが家では何が必要か、家族で話し合って準備しておきましょう。

□懐中電灯　□携帯ラジオ　□常備薬　□保険証　□お薬手帳　□めがね　□入れ歯
□当座のお金　□携帯電話・スマホ用予備電池　□保温ブランケット
□＿＿＿＿　□＿＿＿＿　□＿＿＿＿　□＿＿＿＿

広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動とは

「災害に強い広島県」の実現を目指し、県民及び自主防災組織等が災害から命を守るために適切な行動をとることができるよう、県民、自主防災組織等、事業者、行政等が一体となって取り組む運動です。
（https://www.gensai.pref.hiroshima.jp/）